

平成 31 年度大学入試センター試験(数学)のアンケート調査結果について

千葉県立木更津高等学校・森田雅則

1. 研究のねらい

千葉県高等学校教育研究会数学部会研究委員会では、大学入試センター試験(以下、センター試験)が高等学校の教育に与える影響力の大きさを考慮し、第1回共通一次試験以来、共通一次試験およびセンター試験の問題を分析して問題点の指摘等を継続的に行ってきた。平成31年実施のセンター試験(主に「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」)についても例年に引き続き、県内の一部の受験生や数学科主任を対象にアンケートを行った。その結果をもとにセンター試験の問題点の指摘を行い、高等学校の教育現場に還元できる情報を提供することが研究のねらいである。

2. アンケート調査について

(1) アンケート実施時期

センター試験実施直後

(2) アンケート回答者

①センター試験受験生

千葉県内の進学指導重点校を含む13校の受験生3,232名

②各校数学科主任

3年生の受験生が25名以上いる学校の数学科主任56名

(3) アンケート項目(抜粋)

①センター試験受験生への質問

- ・数学の受験科目、性別、志望学部、数学の得点
- ・「数学Ⅰ」、「数学A」、「数学Ⅱ」、「数学B」の得意・苦手とする項目(単元)
- ・「数学Ⅰ・A」、「数学Ⅱ・B」で選択した問題
- ・全体を通しての問題の難易度
- ・各問題の難易度、各問題の正答率
- ・数学Ⅲの履修状況
- ・学校の授業や補習について
- ・センター試験の対策として効果的だったこと
- ・センター試験の具体的な感想
- ・「大学入学共通テスト試行調査(プレテスト)・数学」の感想

②数学科主任への質問

- ・「数学Ⅰ・A」、「数学Ⅱ・B」の問題全体について(難度、問題量、解答時間、出題の balan

ス、学校の授業や補習だけで十分か)

- ・「数学Ⅰ・A」、「数学Ⅱ・B」の各問題について(難易度、計算量、思考力、学校の授業や補習だけで十分か)

- ・選択問題の難易度の差について

- ・「数学Ⅰ・A」、「数学Ⅱ・B」の問題全体に対して、意見・感想・希望

- ・「大学入学共通テスト(数学)」についての意見

3. アンケート結果及び考察について

受験生全体の傾向、過去の調査結果との比較、いくつかの質問項目の相関などについて、調査結果の考察を行った。志望学部や得点によってグループ分けをしたとき、いくつかの項目でそれぞれのグループの特徴がみられた。今後の指導改善の課題となるものもあるので報告したい。また、センター試験に替わる「大学入学共通テスト」への意見・要望および同テスト試行調査の感想も今回は得られた。

全体の傾向をさらに正確に把握するためには、アンケートの実施方法や時期、質問項目の検討も必要である。大学入学共通テストのアンケートの実施方法の検討と合わせて、今後の課題としていく。

4. おわりに

今回のアンケート調査結果の考察から明らかになった課題や各学校での取り組みなどは、県内での研究発表会や部会誌を通して千葉県の各学校で共有できていると考えている。そのため、この調査を継続していくことは有意義であろう。

なお、今までの調査結果については、千葉県高等学校教育研究会数学部会の部会誌「 $\alpha-\omega$ 」、同部会ウェブページ(<http://math.sakura.ne.jp/>)を参照していただきたい。